

スマイルバス等の利用実績について（令和 6 年度）

吉 野 町

1. はじめに

吉野町では奈良交通路線バスの廃止代替として平成 16 年度より福祉バスの運行が始まった。

平成 21 年 6 月には、自家用車を自由に利用できない人々が気軽に外出できる交通環境を創り、地域の活性化を図ることを目的として、コミュニティバス「スマイルバス」の運行を始めた。

その後、利用実績や利用者・町民からの要請などに基づき、ダイヤの変更やデマンド型乗合タクシーの導入、新たな路線の運行などの見直し・改善を重ねてきた。平成 27 年 10 月には隣接する川上村のコミュニティバス「やまぶきバス」と相互乗り入れを行い、路線バス八木大滝線を代替するとともに、吉野町・川上村の住民の利便性向上と運行の効率化を図ってきた。

令和 2 年度には、運行形態を現行の路線定期運行から区域運行（指定された乗降場所間を自由に乗降できるデマンド方式による運行）に切り替える構想が示され、令和 3 年度の実証運行を経て令和 4 年 4 月からデマンドバスの運行が開始された。その際、デマンドバスの運行開始前の時間帯や公共交通の需要が多い午前 8～9 時台に路線定期運行のスマイルバスを運行し、公共交通サービスを補完することとなった。

本資料は、令和 6 年度のスマイルバス（デマンドバス、路線定期運行バス）および吉野町内におけるやまぶきバスの利用実績を整理し、その結果についてとりまとめたものである。

なお、スマイルバス等の運行概要を下表に示す。

表－1 スマイルバス等の運行概要

名称（運行主体）	運行日	運行区間	運行時間帯・便数等	運賃
スマイルバス デマンドバス	毎日	希望するバス停～ バス停	8:00～17:00 の希望する時刻 17:30～19:30 に上市駅発 4 便	200 円（町民 登録者）
スマイルバス 路線定期運行バス	平日	小名→吉野病院 鈴の音橋西詰 →吉野病院	小名方面発 3 便（6:27～8:46） 南国栖方面発 2 便（6:28,7:28）	200 円
やまぶきバス （川上村）	平日 土曜日	川上村～樫尾・国 栖～吉野病院	平日：樫尾経由 4 往復 国栖経由 1 便（吉野病院行のみ） 土曜日：樫尾経由 3 往復	200 円
ゆうゆうバス （吉野郡 2 町 3 村）	毎日	下北山村～樫尾～ 上市駅～福神駅	1 往復	対距離制

2. スマイルバス等の利用実績

(1) 年間利用者数の推移

図-1は、福祉バスが運行開始された平成16年度以降について、福祉バスおよびスマイルバスの利用者数の推移を示したものである。

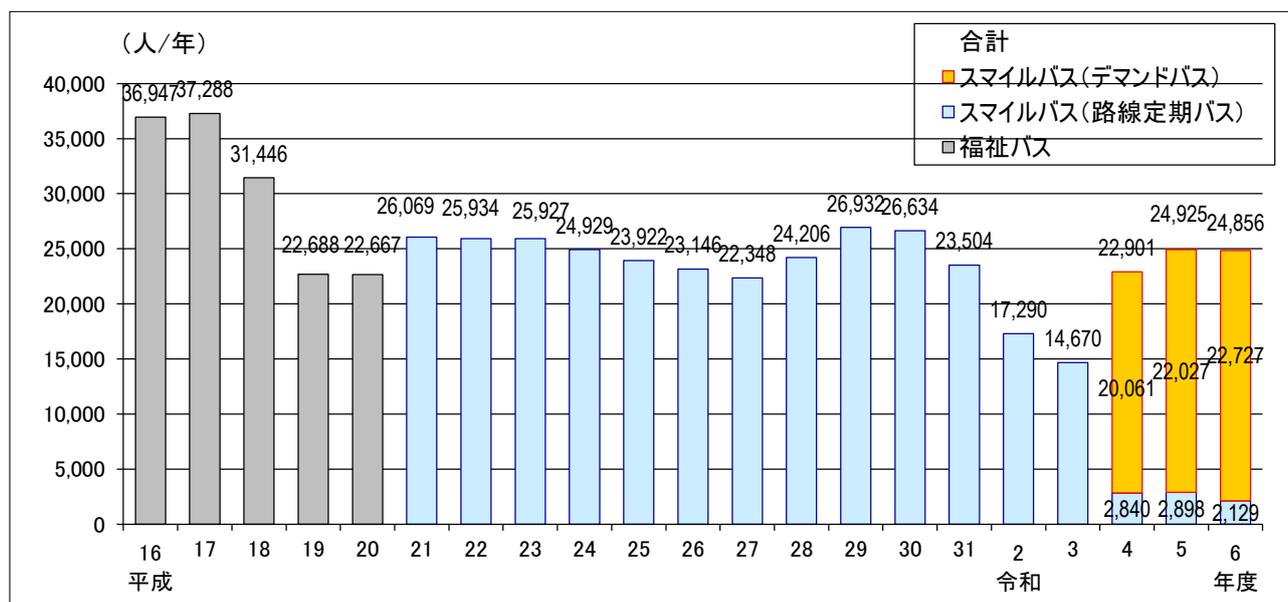
運賃無料の福祉バスは、年間3万人を超える利用があった。平成19年度には運賃が有償化されたため（大人1回200円）、利用者数が減少した。

平成21年6月に福祉バスとスクールバスを一体的に運行することによりスマイルバスに路線再編したが、路線の拡大や便数の増加により、平成21～31年度の年間利用者数は22,000～26,000人程度で推移した。この間、やまぶきバスとの相互乗り入れ（平成27年10月）をはじめ、運行サービスの改善を図ってきた結果、平成29年度の利用者数は26,932人となり、スマイルバス転換後、最多となった。

ところが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って令和2年2月頃から利用者が急減し、令和2年度の利用者数は17,290人に落ち込み、さらにデマンドバスの実証運行（無料）を実施した令和3年度には14,670人まで減少した。

こうした中で、令和4年度からデマンドバスの運行を開始したが、令和4～6年度には20,000～22,000人余りがデマンドバスを利用した。6～8時台にかけて吉野病院行のみ運行している路線定期運行バスには2,000～2,900人ほどの利用があり、デマンドバスと路線定期運行バスを合わせた年間の利用者数は令和5・6年度には25,000人近くとなった。

図-1 福祉バス・スマイルバスの年間乗車人数の推移



(2) スマイルバス（デマンドバス）

① 月間利用者数

図-2・図-3 は令和6年度のスマイルバス（デマンドバス）の月別の利用状況（乗車人数と1日平均乗車人数）を曜日別に図化したものである。

令和6年度1年間で22,727人がデマンドバスを利用した。月間の利用者数は1,731～2,172人であった。このうち、平日は1,521～1,912人、土曜日は92～156人、日曜祝日は76～134人が利用した。月別には10月が2,172人で最も多く、11月には2,118人、5・6・7・12月は1,900人余りの利用があった。その他の月は概ね1,700～1,800人が利用した。

1日平均乗車人数は平日が75～94人、土曜日が22～34人、日曜祝日が15～25人程度であった。

図-2 スマイルバス（デマンドバス）の月別・曜日別利用者数（令和6年度）

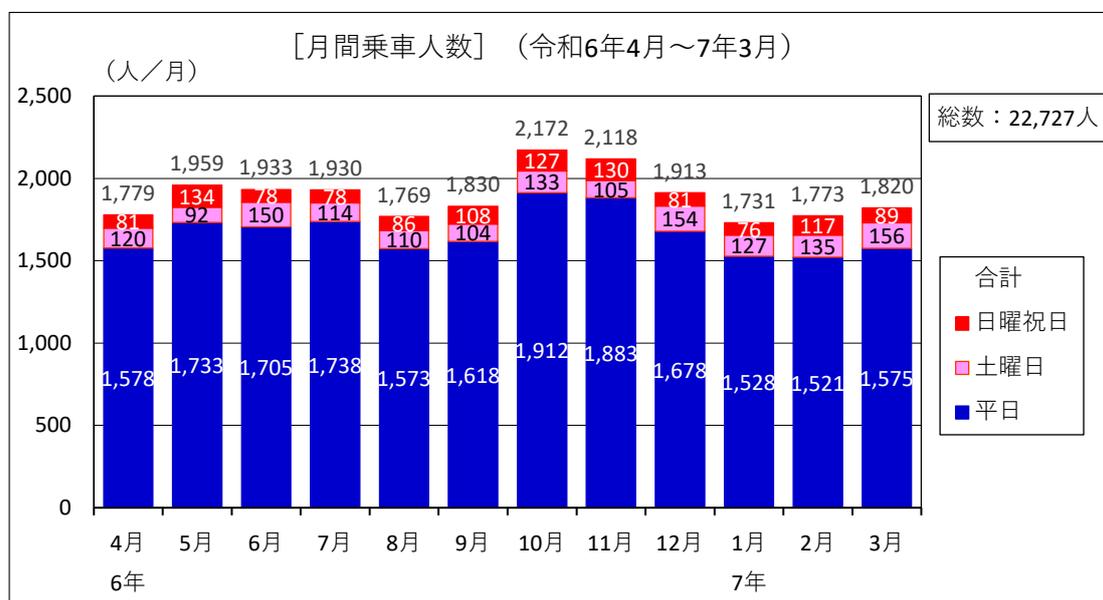
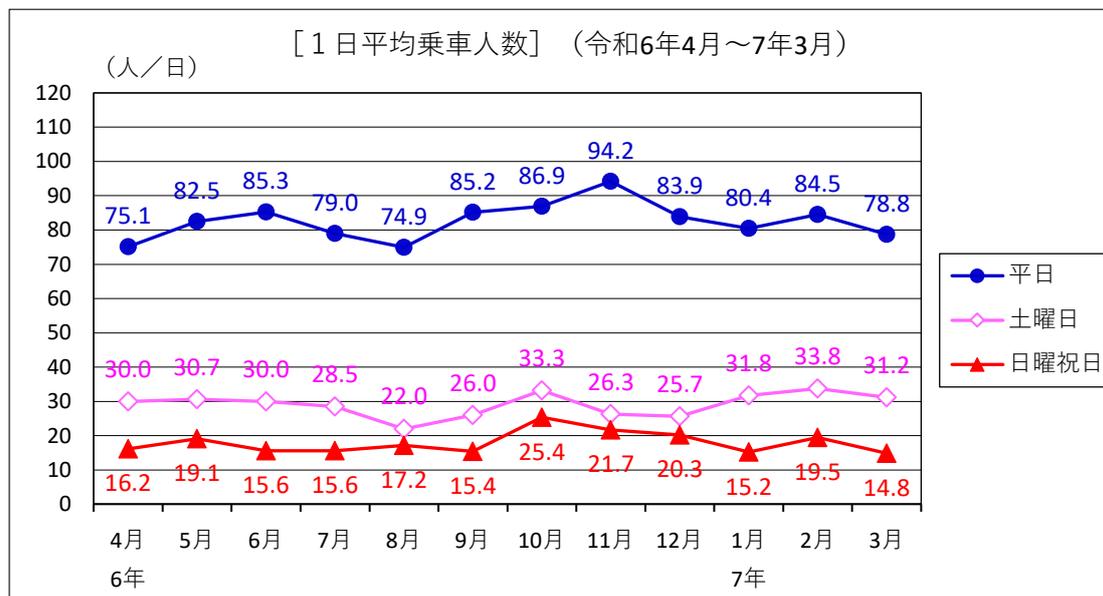


図-3 スマイルバス（デマンドバス）の月別・曜日別1日平均利用者数（令和6年度）



② 性別・年齢別の利用状況

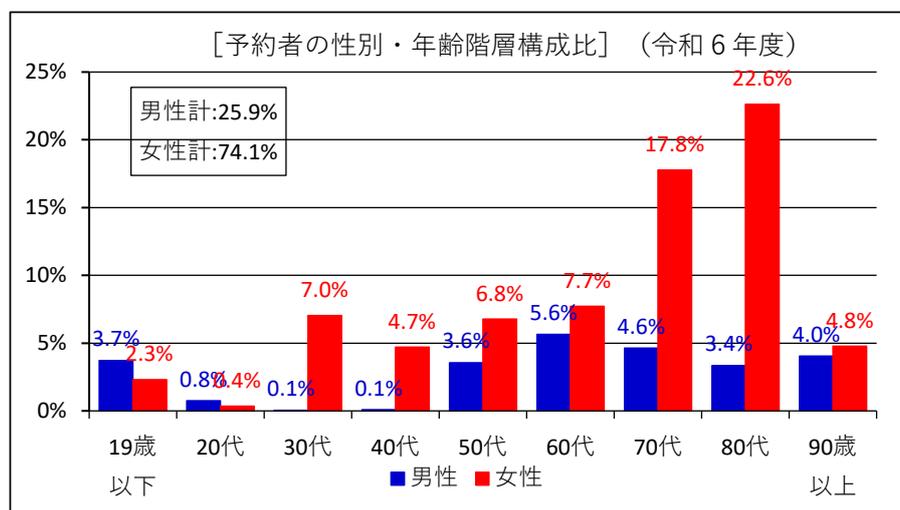
図-4 は令和6年度中に実車運行したデマンドバス予約者の性別・年齢階層別の構成比を図化したものである。

予約者の約4分の3に当たる74.1%が女性による予約であった。

性別・年齢階層別には、80代の女性による予約が22.6%で最も多く、70代の女性が17.8%で2番目に多かった。これに対し、70～80代の男性の予約は3.4～4.6%に留まった。この背景には高齢者でも男性は自分で運転できる人が多いのに対し、高齢の女性は運転免許を持たない人が多く、高齢女性の単身世帯においてデマンドバスの必要性が高いことがあるものと推察される。

高齢者以外では、30～60代の女性や19歳以下の予約が少なからず見られた。

図-4 デマンドバス予約者の性別・年齢階層別の構成比（令和6年度）



③ 利用時間帯

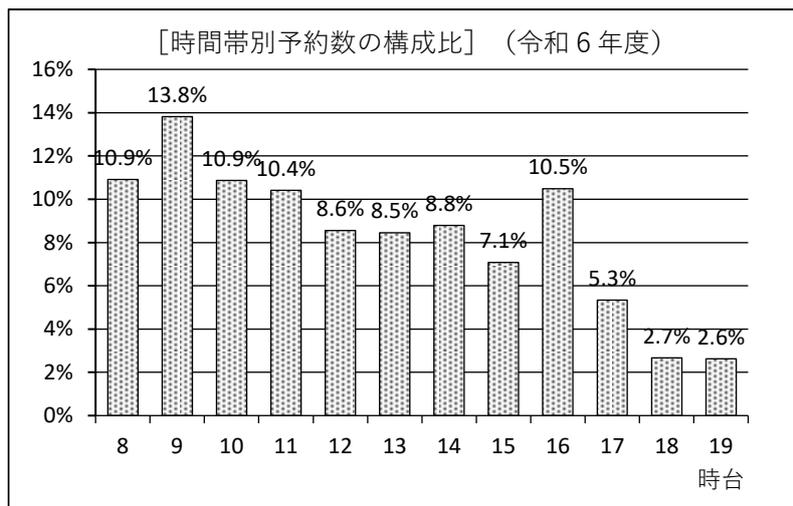
デマンドバスの時間帯別の予約数の構成比を図-5に示す。

最も予約の多かった時間帯は9時台（13.8%）であった。次いで、8時台・10時台・11時台・16時台の予約が多く、これらの時間帯は10%余りを占めた。

一方で、12時台以降の予約は10%を下回る時間帯が多く、15時台は7.1%に留まった。また、出発時刻を限定し上市駅発で運行した17時以降の予約数は2.6～5.3%であった。

このように、デマンドバスは午前中を中心に利用され、午後の利用は午前中の6～7割程度であった。

図-5 デマンドバスの時間帯別予約数の構成比（令和6年度）



(3) スマイルバス（路線定期運行）

令和6年度のスマイルバス（路線定期運行）の利用状況（各便の利用者数と1日平均利用者数の月間の動向）を図-6に示す。

月間の利用者数は5コース合計で142～217人であった。月によりばらつきはあるが、各コースとも概ね20～70人の利用が見られた。小名8:46発はデマンドバスの運行時間帯であるが、通院や買い物などで出掛ける人が多い時間帯であり、路線定期運行バスでも一定の利用が見られた。

その一方で、南国栖自治会館6:28発は10月以降、月間の利用者が10人を下回った。その理由については不詳である。

また、折れ線は令和4・5年度の5コース合計の利用者数を示すが、全ての月で令和6年度の利用者は令和4・5年度を下回った。

便別・バス停別の乗降者数（令和6年度）を次頁の表に示す。

図-6 路線定期運行バスの月別・便別利用者数（令和6年度）

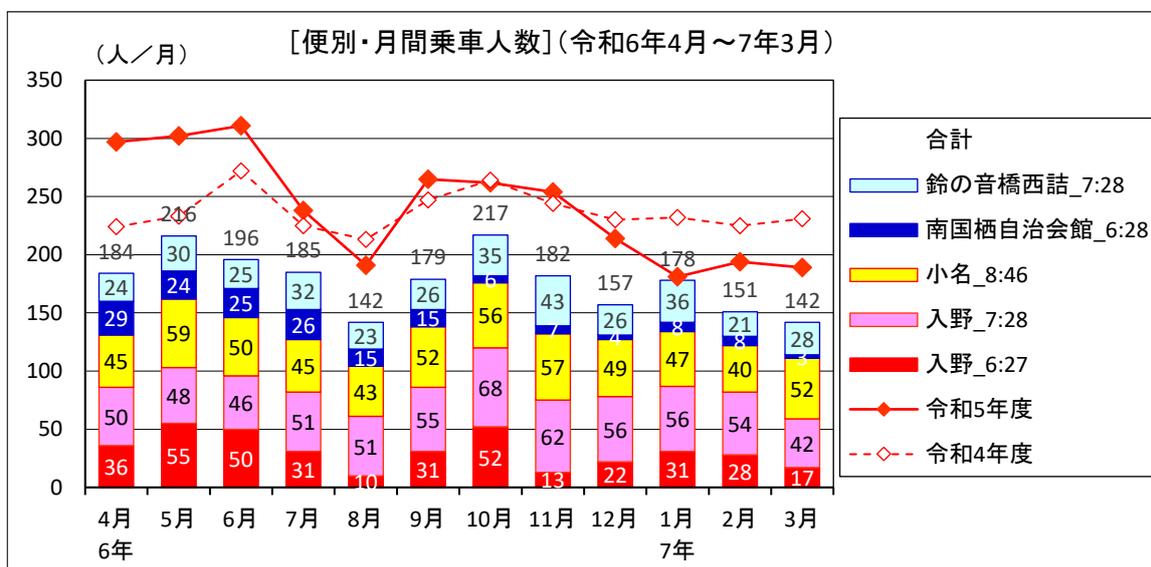


表-2 路線定期運行バスの便別・バス停別乗降人数（令和6年度）

小名・入野→上市駅・吉野病院 平日

コース	Aコース		Aコース		Aコース		R6.4~7.3	
	上市駅		上市駅		吉野病院		合計	
行先	上市駅		上市駅		吉野病院		合計	
運転日								
始発時刻	6:27		7:28		8:46			
バス停	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降
小名					9		9	0
小名口					0	0	0	0
入野	5		20		6	0	31	0
下色生	0	0	0	0	1	0	1	0
中色生	2	0	7	0	66	0	75	0
上色生	0	0	0	0	2	0	2	0
笛吹	14	0	5	0	3	0	22	0
三茶屋	72	0	1	0	29	0	102	0
上柳	2	0	68	0	7	0	77	0
柳	2	0	4	0	5	0	11	0
旧中竜門小	4	0	219	0	59	0	282	0
下地柳	177	0	6	0	3	0	186	0
地藏前	0	0	1	0	3	0	4	0
香東	2	0	4	0	97	0	103	0
下香東	3	0	0	0	3	0	6	0
運動公園	//	//	//	//	0	0	0	0
山	3	0	4	5	28	0	35	5
津風呂湖北	12	0	72	0	142	3	226	3
旧吉北小	4	0	2	0	9	0	15	0
龍門郵便局	0	0	0	0	6	0	6	0
西谷口	4	0	178	0	30	1	212	1
佐々羅	63	0	29	0	14	0	106	0
峰寺	0	0	1	0	1	0	2	0
志賀	1	0	6	0	57	0	64	0
峰寺口	0	0	0	0	2	0	2	0
立野口	0	23	2	3	0	3	2	29
立野	0	0	0	0	0	2	0	2
轟	1	0	6	0	2	0	9	0
上市水泳場	0	0	1	0	0	0	1	0
吉野町役場前	5	1	2	3	0	31	7	35
上市局前	0	0	1	0	0	10	1	10
リバーフィールドよしの	0	0	0	0	0	25	0	25
上市橋	0	0	0	0	0	10	0	10
上市	0	0	0	0	0	7	0	7
上市駅		352	0	505	11	400	11	1,257
吉野大橋南詰			0	1	0	2	0	3
吉野病院				122		101		223

利用者数計	376	376	639	639	595	595	1,610	1,610
運行日数	243		243		243		243	
1日平均利用者数	1.55	1.55	2.63	2.63	2.45	2.45	6.63	6.63

南国栖→上市駅・吉野病院 平日

コース	Bコース		Bコース		R6.4~7.3	
	上市駅		吉野病院		合計	
行先	上市駅		吉野病院		合計	
運転日						
始発時刻	6:28		7:28			
バス停	乗	降	乗	降	乗	降
鈴の音橋西詰			7		7	
南国栖自治会館	3		2	0	5	0
南国栖	1	0	7	0	8	0
南国栖隧道口	0	0	8	0	8	0
国栖東	0	0	29	0	29	0
高橋東	0	0	36	0	36	0
国栖	13	0	17	0	30	0
新子	1	0	18	0	19	0
新子局前	23	0	55	0	78	0
窪垣内宮の下	2	0	2	0	4	0
窪垣内	11	0	16	0	27	0
窪垣内下	0	0	1	0	1	0
大野	0	0	0	0	0	0
南大野	17	0	12	0	29	0
吉野渡場	3	0	3	0	6	0
矢治若山	0	0	1	0	1	0
上矢治	11	0	118	0	129	0
下矢治	0	0	6	0	6	0
菜摘	3	0	0	0	3	0
消防署北	0	0	1	0	1	0
宮滝	44	0	2	0	46	0
長崎	1	0	1	0	2	0
上櫓井	8	0	4	0	12	0
櫓井	2	0	1	0	3	0
下櫓井	0	0	0	0	0	0
津風呂湖口	0	0	0	1	0	1
河原屋	0	1	0	0	0	1
立野口	0	0	0	0	0	0
立野	0	0	0	0	0	0
轟	3	0	2	0	5	0
上市水泳場	1	0	0	0	1	0
吉野町役場前	23	0	0	5	23	5
上市局前	0	0	0	0	0	0
リバーフィールドよしの	0	0	0	1	0	1
上市橋	0	0	0	0	0	0
上市	0	0	0	0	0	0
上市駅		169	0	263	0	432
吉野大橋南詰			0	1	0	1
吉野病院				78		78

利用者数計	170	170	349	349	519	519
運行日数	243		243		243	
1日平均利用者数	0.70	0.70	1.44	1.44	2.14	2.14

(4) やまぶきバス

図-7 は令和6年度のやまぶきバスの平日の利用者数について、吉野町内で乗降した人数（町内で乗車し、かつ町内で降車した人数）を図化したものである。

上市駅・吉野病院行では、南国栖 8:54 発（吉野病院行き）の利用が突出して多く、月間 50～87 人の利用があった。この便は、前述の小名 8:46 発のスマイルバスと同様、デマンドバスの運行開始後の時間帯に運行されているが、買い物や通院を目的とした多くの人々が利用していると推察される。利用者数は、小名発の便を上回った。

吉野町から川上村に向かう便では、吉野病院 9:20 発において4月の利用が月間 62 人見られた。利用実績のデータを詳細に見ると、これらの月では宮滝での降車が多いほか、この便は上市駅に 9:20 前後に到着する近鉄（特急、急行）に接続していることから、観光などを目的とした町外居住者による利用と考えられる。

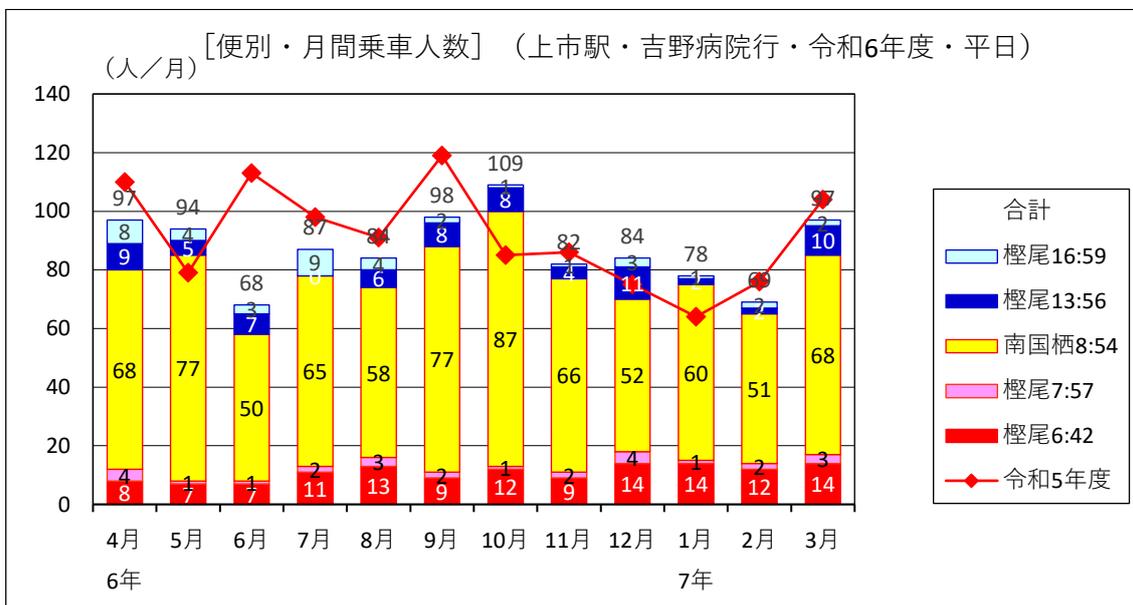
また、吉野病院 11:00 発の便は年間を通じて毎月 20 人前後の利用者がある。詳細を見ると上市駅（年間 302 人）とともに吉野病院からの乗車（149 人）が多く、通院の帰りに利用する人が一定数存在することがわかる。

赤色の折れ線は令和5年度の利用者数（全便の合計）を示すが、令和5年6月～9月は令和6年度より多くの利用があった。一方で、10月以降は令和6年度の方が多い月がほとんどであった。

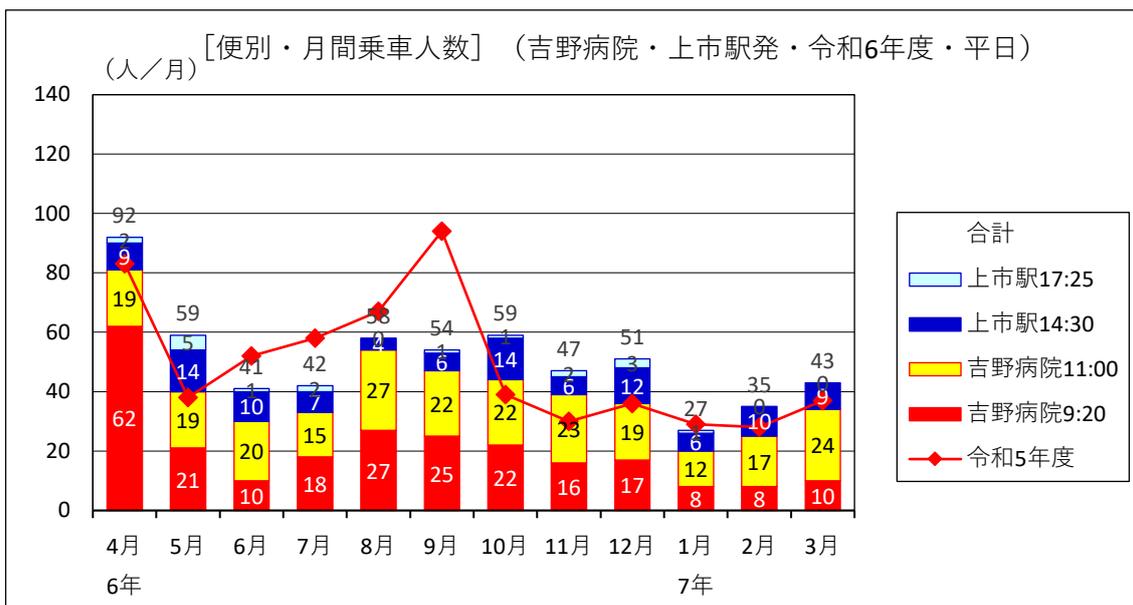
なお、土曜日の利用状況については、利用者数が少ないため割愛する。

図-7 やまぶきバスの月別・便別利用者数（吉野町内のみ・令和6年度・平日）

<川上村→上市駅・吉野病院行>



<吉野病院・上市駅→川上村行>



(5) スマイルバス・やまぶきバスの利用者総数

図-8・図-9 はスマイルバス（デマンドバス、路線定期運行バス）とやまぶきバスの令和6年度の月別の利用状況（乗車人数と1日平均乗車人数）を一体的に図化したものである。なお、路線定期運行バスの運行日が平日に限られることから、平日を対象として図化している。

令和6年度の平日に、スマイルバスとやまぶきバスを合わせて23,826人の利用があった。このうちデマンドバスの利用者数は20,042人、路線定期運行バスは2,129人でそれぞれ84.1%、8.9%を占めた。月間の利用者数は、合わせて1,776～2,297人となった。

1日平均利用者数は、デマンドバスが74.9～94.2人/日、路線定期運行バスが6.8～10.3人/日、やまぶきバスが5.5～9.0人/日であった。

図-8 スマイルバス・やまぶきバスの月別利用者数（令和6年度・平日）

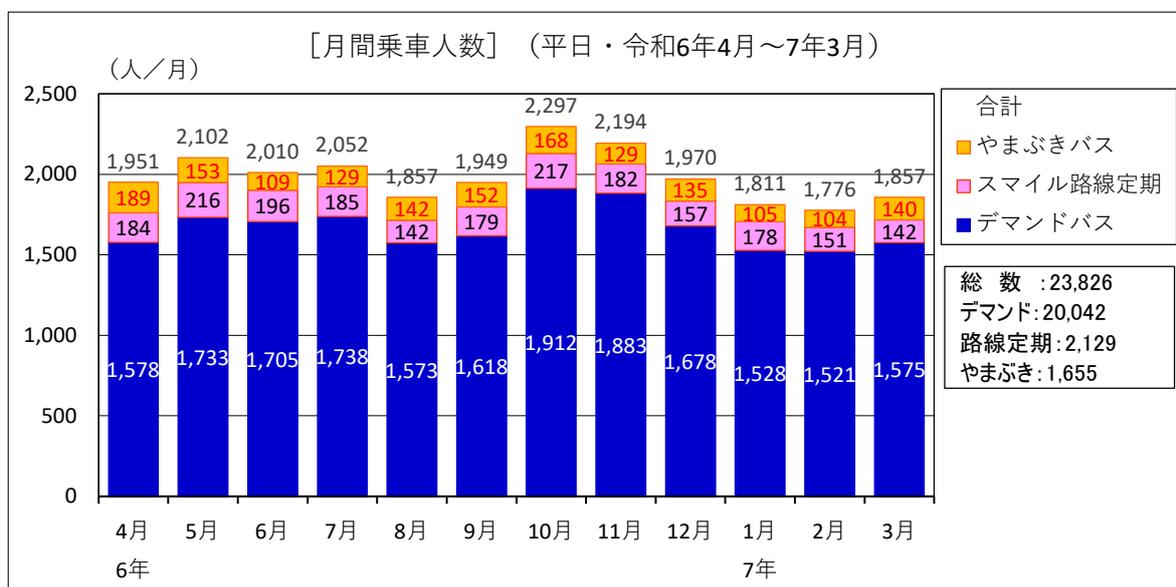


図-9 スマイルバス・やまぶきバスの月別1日平均利用者数（令和6年度・平日）

